

研究課題 (テーマ)		「鉄は熱いうちに打て!プロジェクト」 ー産学協働型アクティブラーニングで県大1年生を鍛えるー										
研究者	所属学科等	職	氏名									
代表者	教養教育	准教授	清水 義彦									
	教養教育	講師	濱 貴子									
研究結果の概要												
(概要)												
この提案は、入学後からインターンシップまでの教養教育の2年間を有意義な時間にしてほしいという願いが根底にある。入学直後に企業人との課題解決事業で、自分に足りない力を認識し、授業に「学ぶ意義」を持たせたいと考えた。やる気に満ち溢れた1年前期での実施が理想であるが、今回は採択後の後期15週教養ゼミ(濱ゼミ)15名で実施した。立山科学グループ採用担当者と連携し遂行した。企業からの課題提示後、3~4人グループで課題解決案を企業人にプレゼンテーションを行うのがゴールである。この過程での「失敗体験」から就職前に必要な知識・技能に学生が気づき、学生の学業への意識の変化、行動の変化につなげるキャリア教育を目指して15週実施した。												
(結果と考察)												
今回のプロジェクトの成果を測る指標は、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力である「社会人基礎力」(経済産業省,2006)とした。12の力への学生の意識の変化をt検定の手法で統計処理した。4件法(4ある、3少しある、2あまりない、1ない)で学生は自己評価した。上記の表はその結果である。以下の2つに0.1%~1%水準で有意差が見られた。 7発信力(自分の意見をわかりやすく相手に伝える力)、2働きかけ力(他人に働きかけ巻き込む力)												
また以下3つに有意差傾向があった。 6創造力(新しい価値を生み出す力)、1主体性(物事に進んで取り組む力)、5計画力(課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力) これより、企業が提示した課題の解決にグループで協働し、最後に企業人へのプレゼンする過程で上記5つの力への手ごたえを学生は感じたと推察している。また今回、企業人とのやり取りで相当の「冷や汗」をかいたことが、 12ストレスコントロール力(ストレスの発生源に対応する力) がマイナスになっている点に現れているのかもしれない。												
表 H29 「社会人基礎力」に対する学生の意識の変容 事前(H29.10.5)・事後(H30.2.1)の平均値の差のt検定(N=15)												
質問項目		事前調査		事後調査		対応サンプルの差						
		M	SD	M	SD	M	SD	t	df	p	d	
1	主体性 (物事に進んで取り組む力)	2.47	0.52	2.87	0.74	0.40	0.83	1.87	14	.082	#	0.63
2	働きかけ力 (他人に働きかけ巻き込む力)	1.93	0.46	2.60	0.83	0.67	0.72	3.57	14	.003	**	1.00
3	実行力 (目的を設定し確実に行動する力)	2.40	0.63	2.87	0.92	0.47	1.19	1.52	14	.150		0.59
4	課題発見力 (現状を分析し目的や課題を明らかにする力)	2.40	0.63	2.80	0.86	0.40	0.91	1.70	14	.111		0.53
5	計画力 (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力)	2.20	0.77	2.67	0.82	0.47	0.99	1.82	14	.089	#	0.59
6	創造力 (新しい価値を生み出す力)	1.80	0.56	2.53	0.83	0.73	1.16	2.44	14	.028	*	1.03
7	発信力 (自分の意見をわかりやすく伝える力)	2.07	0.59	2.87	0.52	0.80	0.68	4.58	14	.000	***	1.44
8	傾聴力 (相手の意見を丁寧に聴く力)	2.80	0.86	2.93	0.88	0.13	0.99	0.52	14	.610		0.15
9	柔軟性 (意見の違いや立場の違いを理解する力)	2.67	0.82	3.00	0.85	0.33	0.82	1.58	14	.136		0.40
10	状況把握力 (自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力)	2.67	0.72	2.93	0.80	0.27	0.70	1.47	14	.164		0.35
11	規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)	3.00	0.85	3.27	0.80	0.27	1.22	0.84	14	.413		0.32
12	ストレスコントロール力 (ストレスの発生源に対応する力)	2.93	1.03	2.87	1.13	-0.06	1.03	-0.25	14	.806		-0.06
						***:p<0.001 **:p<0.01 *:p<0.05 # :p<0.1						
今後の展開												
初年度の試行事業であった。H30年度は、当初の計画を4月前期から清水ゼミで行っている。H31年度は、他の教養ゼミでも検討していただきたいと思っている。												